



# 東北大学病院 内科専門研修 プログラム 2027

## プログラム統括責任者ご挨拶

内科専門医を目指す先生方は内科専門研修プログラムに何を求めますか？高い専門性、バランスの取れた症例経験、手厚い指導、初期研修からの継続性、研究との両立、人により求めるものが違うと思いますが、できればすべてを備えたプログラムがいいと思います。内科専門医を取得するには、希少疾患を含めた十分な症例数の経験が必要ですし、その経験をサポートする十分な数の指導医がすべての領域において必要です。さらに、より高い専門性が求められるこれからの専門医にとって、バックボーンとしての研究歴・博士号の取得はとても重要になっていきます。

東北大学病院内科専門研修プログラムは、約116名の指導医が所属し、希少疾患を含め経験できる症例が豊富で、サブスペシャリティの専門研修もシームレスに行えることが可能であり、かつ大学院での研究も視野に入れたプログラムです。すなわち、専門医取得を目指す先生方にとっても、そのあとさらに研究を目指す先生方にとっても、目指す道が確実にそして安心して歩めるプログラムです。

専門医プログラムを決めるこの時期は、自分の将来を考えるととても大切な時期です。自分が目指す専門領域の臨床や研究のキャリアを形成していくためには、どのような環境が望ましいのかよく考えてみてください。東北大学は最高の環境を整えて先生方を待っています。



東北大学病院  
内科専門研修プログラム  
統括責任者

青木正志

## 東北大学病院内科専門研修プログラムの特徴



多数の  
連携施設

北海道から九州にかけて関連する病院を連携施設として組み込んでおり、東北大学病院プログラムに登録しても、初期研修病院が連携施設であれば、そのまま専門研修を続けることができます。



豊富な症例と  
指導医

新入院患者は約8,400人、外来延患者は約18万7千人となっており、希少疾患を含め経験できる症例が豊富にあります。また、約116名の指導医が所属しています。



スペシャリスト  
一貫教育システム

早期から専門経験を重視したシームレスな「スペシャリスト一貫教育システム」を提案しており、サブスペシャルティの専門研修もシームレスに行うことができます。



学術活動も可能

大学院で学位取得も可能です。



研修医・医学生の  
教育に関与

次の世代の育成にも関わります。



地域医療にも貢献

東北の地域医療を各診療科が支えています。これらの連携施設・特別連携施設でも研修します。



宮城県修学資金  
貸与生も考慮

修学資金貸与生向けの「地域重点内科コース」があります。指定勤務と専門医取得を最短でサポートします。

## 東北大学病院内科専門研修の例

いずれのコースでも、基幹施設である東北大学病院で1年以上、連携施設または特別連携施設で1年以上の研修を行います。連携施設・特別連携施設での研修は1ヶ所につき最低3ヶ月以上です。特別連携施設での研修期間は6ヶ月以内とします。

連携施設の選定および時期は、専攻医と診療科(総合内科コースではホスト診療科、地域重点内科コースでは総合地域医療教育支援部および卒後研修センター)で相談して決定します。

### 1 総合内科コース

(希望するサブスペシャルティ領域が未決定の場合)

1年次	2年次		3年次	
東北大学	連携・特別連携	東北大学	連携・特別連携	東北大学

◎将来希望するサブスペシャルティのうち一つをホスト診療科とします。

◎連携施設から研修を開始することも可能です。

### 2 サブスペシャルティ内科重点コース

(希望するサブスペシャルティ領域が決まっている場合)

①東北大学病院から研修を開始する場合の例

1年次	2年次	3年次
東北大学	連携・特別連携	東北大学

②連携施設から研修を開始する場合の例

1年次	2年次	3年次
連携・特別連携		東北大学

◎大学院に入学して専門研修を行うことも可能です。但し、修了認定には研修期間30か月以上が必須であり、勤務体系に応じて研修期間の算出が異なるため、研修時間数に注意が必要です。

◎②のように連携施設となっている初期研修病院で引き続き専門研修を行い、その後、東北大学で研修を行うことも可能です。

### 3 地域重点内科コース

(地域医療を中心とした内科研修を行う場合・宮城県修学資金貸与生の場合)

1年次	2年次		3年次
東北大学	連携施設A	連携施設B	特別連携 東北大学

◎(宮城県修学資金貸与生の場合)連携施設のローテーション期間は1年6ヶ月、特別連携施設のローテーションは6ヶ月とします。

修学資金貸与生は宮城県とも協議して修学資金償還の指定勤務とキャリア形成を両立させるように配慮します。

## 東北大学病院内科専門研修プログラムで研修すると…



図書館など  
大学の施設が  
利用できます



多くのデー  
タベース等が無料  
利用できます



希少疾患など  
多様で豊富な  
症例を経験  
できます

## 連携施設一覧

連携施設	北海道	帯広第一病院
	青森県	十和田市立中央病院 八戸市立市民病院
	秋田県	大曲厚生医療センター 平鹿総合病院 本荘第一病院
	岩手県	岩手県立胆沢病院 岩手県立磐井病院 岩手県立中央病院 岩手県立中部病院
	山形県	公立置賜総合病院 日本海総合病院 山形県立新庄病院 山形県立中央病院 山形市立病院済生館
	福島県	医療生協わたり病院 いわき市医療センター 太田西ノ内病院 国立病院機構いわき病院 寿泉堂総合病院 白河厚生総合病院 竹田総合病院 福島労災病院 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
	宮城県	石巻市立病院 石巻赤十字病院 大崎市民病院 栗原市立栗原中央病院 気仙沼市立病院 国立病院機構仙台医療センター 国家公務員共済組合連合会東北公済病院 将道会総合南東北病院 仙台オープン病院 仙台厚生病院 仙台市立病院 仙台循環器病センター 仙台赤十字病院 仙台徳洲会病院 地域医療機能推進機構(JCHO)仙台病院 東北医科薬科大学病院 東北医科薬科大学若林病院 東北労災病院 みやぎ県南中核病院 宮城県立がんセンター 宮城厚生協会坂総合病院 涌谷町国民健康保険病院
	栃木県	国際医療福祉大学那須医療センター
	茨城県	国立病院機構水戸医療センター
	埼玉県	自治医科大学附属さいたま医療センター 深谷赤十字病院
	東京都	NTT東日本関東病院 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 日本赤十字社医療センター
	神奈川県	国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院
	静岡県	静岡済生会総合病院
福岡県	久留米大学病院 九州大学病院	
特別連携施設	宮城県	石巻市立雄勝診療所 石巻市立病院附属牡鹿医療センター 大崎市民病院鹿島台分院 女川町地域医療センター 川崎町国民健康保険川崎病院 気仙沼市立病院附属本吉医院 公立刈田総合病院 公立加美病院 公立黒川病院 国立病院機構仙台北多賀病院 国立病院機構宮城病院 広南病院 蔵王町国民健康保険蔵王病院 塩竈市立病院 登米市立登米市民病院 登米市立豊里病院 登米市立米谷病院 丸森町国民健康保険丸森病院 美里町立南郷病院 南三陸病院

## 専攻医の声

東北地方はリウマチ・膠原病内科を有する医療機関の数は多くなく、当院には、東北地方全域より患者さんが紹介・受診されます。中には急性期で強い免疫抑制治療が必要な症例や、希少疾患、高い診療能力を要する「不明熱・不明炎症」症例も多く含まれており、専攻医としてそれら診療の最前線で研鑽を積むことができます。チャレンジングな症例は科内カンファレンスで指導医や他科の先生方に相談できる環境が整っており、私一人で悩み続けることはありません。まだ専門の道に進み日は浅いですが、患者さんひとりひとりと真摯に向き合うことができ、一歩ずつ、たしかな成長を実感できる充実した研修プログラムであると考えています。



リウマチ膠原病内科

新澤 智行

私は東北大学病院で初期研修を修了後、同院の内科専門研修プログラムに入りました。連携施設としてみやぎ県南中核病院、国立病院機構宮城病院で診療に従事した後、現在は東北大学病院呼吸器内科で研修しています。連携施設では呼吸器のcommon diseaseへの対応や、地域医療及びプライマリケアについて経験を積むことができ、内科診療の基礎を学ぶことができました。現在は大学病院で重症・複雑な病態への対応や、最先端の治療に触れて日々学びを深めています。各連携施設の様々な環境でそれぞれの視点から内科診療を学べるのが本プログラムの特徴だと思います。また、同年代の専攻医も多くお互いに刺激を受けられる環境が整っています。ぜひ一度見学にお越しいただき、一緒に学べればと思います。



呼吸器内科 木口屋 啓太

私は東北大学病院での初期研修を経て、同院の内科専門研修プログラム(血液内科)に所属し、初年度は大学で、以降は大崎市民病院で研修をしています。大学病院では、造血幹細胞移植をはじめ集学的かつ高度専門的な診療にチームとして携わり、指導医の下で診断推論や治療方針の立て方を体系的に学ぶことができます。連携病院では、主治医として、患者さんの生活背景を踏まえた総合的な診療能力が求められます。高齢化の進む昨今において、血液疾患とどのように向き合うべきか、悩みながらも充実した日々を送っています。診療だけでなく、大学院や血液専門医取得といったキャリアも見据えたサポートも整っており、総合内科としての基盤を築くことができる非常に恵まれた研修環境です。是非ご検討いただければと思います。



血液内科 金 輝

## 募集案内

- 募集人数 55人
- 選考方法 書類審査および面接試験
- 応募書類 東北大学病院内科専門研修プログラム申込書を郵送もしくはEメールにてお申し込みください。(様式はホームページからダウンロード可能です。)

※募集は日本内科学会及び日本専門医機構によるスケジュールに沿って行います。詳細は、日本内科学会及び東北大学病院卒後研修センターのホームページでご確認ください。

カテーテルや心エコーを用い診断する循環器診療では多くのスキルを学ぶことができます。動脈硬化性疾患・心房細動発症に関連する生活習慣病の管理は内科医としてのgeneralな素養です。経験豊富な指導医のもと、症例の宝庫ともいえる東北大学病院で皆さんと共に働くことができますことを楽しみにしています。

循環器内科 安田 聡



感染症は、臓器にとらわれず各科横断的な診療が必要です。COVID-19のように感染症は、個人の問題から時に社会的な問題に発展します。本プログラムでは、感染症診療はもとより、感染管理、抗菌薬適正使用、疫学調査など感染管理室など様々な部署の協力のもと幅広い知識と技量を持つ医師を育成します。

総合感染症科 青柳 哲史



当科の診療領域は腎炎・ネフローゼ症候群にはじまり急性腎障害・慢性腎臓病、腎代替療法他、腎血管性高血圧などの二次性高血圧症など多岐にわたります。高頻度で遭遇する疾患から稀少疾患まで幅広く経験していただける環境のもと、皆様と御一緒にできるのを楽しみにしております。

腎臓・高血圧内科 田中 哲洋



造血器疾患は全身の臓器に影響を及ぼすため、幅広く診ながら診断・治療を進めることで内科医としての底力が身につきます。本プログラムでは、大学病院・連携施設の充実した症例数・指導体制のもと、医師としての経験を一つ一つ積み重ね、優れた血液内科医の育成を目指しております。

血液内科 福原 規子



リウマチ膠原病内科では初期研修で習得した内科の知識と技能を総動員し、全身性疾患の診断と治療を行います。他の内科領域の優れた指導医の先生方にも協力、指導を得ながら幅広く症例を経験できます。全身を診る内科医の育成に努めます。お待ちしております。

リウマチ膠原病内科 藤井 博司



当院内科専門研修プログラムでは、専門性が必要な内分泌疾患や1型糖尿病から、よりcommonな糖尿病、高脂血症、肥満症まで幅広い全身疾患を学ぶことができます。これらの診療を通じ、患者さんの病態に応じて、全身を診療できる糖尿病・代謝・内分泌内科医の育成を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

糖尿病代謝・内分泌内科 今井 淳太



消化器内視鏡などを用いて自分自身で消化器病を見つけ治療するという姿勢を大切に、関連病院と密に連携した豊富な症例を基に、common diseaseから難治性疾患まで幅広く診ることができる消化器病総合医の育成を行っています。皆さんをお待ちしています。

消化器内科 正宗 淳



加齢・老年病科は、認知症診療と高齢者を総合的に診る医療（老年症候群の診療、ポリファーマシー対策、生活支援）を得意分野としています。臨床研究にも力を入れており、経験豊富な指導医のもとで内科専門研修プログラムと共にサブスペシャリティ領域として、認知症・高齢者医療の専門医を目指すことができます。

加齢・老年病科 中瀬 泰然



2000年以上の歴史の中、数限りないtry and errorが繰り返されて漢方薬は形成された。今や欧米諸国がこぞって学びたがる“漢方の真髄”を学ぶのは今、ここしかない！ 国内でも有数の漢方専門医、指導医が在籍する当科で漢方を学び、一緒に科学し、伝統を継承しよう！

漢方内科 石井 正



心療内科では心理社会的要因の評価を含めた総合的な心身医療を実践しています。当院では全ての内科領域を研修することが可能であり、各サブスペシャリティ領域において質の高い診療経験を積むことができます。充実したキャリアを目指す皆様のご参加をお待ちしています。

心療内科 金澤 素



内科研修では数多くの症例に接することが重要です。呼吸器内科は喘息やCOPD、肺癌、肺炎といった主要疾患はもとより稀少疾患も研修が可能です。サブスペ研修においてもスタッフの質・量ともに充実しています。皆様のご参加をお待ちしています。

呼吸器内科 杉浦 久敏



がんゲノム医療中核拠点病院である当院には、東北全域から多様かつ希少ながん症例が集まります。進行がんの患者さんに寄り添い、医師として何ができるかを模索する日々は、疾患理解と臨床力の深化につながります。充実した教育体制のもと、確かな診療経験を積みたい方をお待ちしています。

腫瘍内科 川上 尚人



東北大学病院内科専門研修プログラムは、豊富な症例をベースに、神経内科の基礎から応用まで幅広い臨床力を系統的に養うことが出来ます。関連病院との連携も含め、サブスペシャリティ研修を見据えた柔軟な研修が可能です。皆さんと共に働く日を楽しみにしています。

脳神経内科 青木 正志



東北大学病院は国公立大学で最初にホスピスを開設した緩和ケアにも先進的な病院です。患者さん・ご家族のさまざまな辛さを和らげるスキルは、全ての医療に通ずるものであり、皆さんの将来において確実に役立ちます。ご希望に沿って柔軟に対応しますので、気軽にご相談ください（宮城県が誇る在宅緩和ケアを学ぶことも可能です）。

緩和医療科 井上 彰

